



お得な家族割引引き制度を  
始めます

スクールを開校して、二年が経ちますが、スクール生の中には一家庭も有ります。そのようなご家庭のご負担を少しでも軽く出来ればと思ひ、この度『家族割引引き制度』を始めます。

同一家族内で二名以上の在籍者が居る場合、在籍家族全員の授業料の一〇%の割引をさせていただきます。金額としては微々たるものですが、少しでもお役に立てればと思ひます。この制度には、特に申請などの必要はございません。複数名の方が在籍なさっているご家族には、自動的に7月分授業料より適用させていただきますので、宜しくお願ひ申し上げます。

最近の作品紹介

昨年の暮れより最近までの間に、幼児クラスから成人クラスまで様々な作品が産み出されて来ましたので、クラスの様子と共に、ここでご紹介いたします。幼児クラスでは、4月よりの新生が多くなり、多岐にわたる作品が、みんなの力作となり、5月の新聞紙を用いた大作の制作



今年もやります  
夏のアトリエ

夏のアトリエ

暑かったり、寒かったり、遊園地のジェットコースターのような天候が続きますが、気が付くともうすぐ夏がやって来ます。今年の夏は、猛暑で渇水などと言う話も出ていますが、東戸塚アトリエでは昨年同様、幼児から成人クラスまでを対象にした『夏のアトリエ』を開催致します。日程は下記の通りです。希望の方は、ご予約の調整を宜しくお願ひ申し上げます。お申し込みは、別紙に付属の申込書をご提出頂くか、メールにてお知らせ下さい。

Table with 3 columns: Class Name, Dates/Times, and Fees. Includes categories like 幼児クラス (2日間), 小・中学生クラス (3日間), and 成人クラス (4日間).

では、楽しく弾けた制作時間を過ごす事が出来ました。今年度は五歳児が多いので、昨年度よりも少々落ち着きが有るようです。たまに生意気な事を言ってしまう子供もいます。



小学生クラスでは、全員で分担任して取り組んだ『トランプ』の制作が印象的でした。一年生から四年生まで、技量的にも様々なレベルの生徒達が、それぞれの割り当てのカードを、責任を持って制作しました。手法的にも『点描』で描くというルールで行なったので、生徒によっては大きなプレッシャーの元での制作になったのではないかと思ひますが、全員が素敵なカードを描き上げ、1セット五十四枚のトランプが見事に完成しました。これらの生徒が描いた原画を集め、パソコンで読み込み、1セット分を人数分プリントして、自分達で切り分けてトランプは完成しました。自分の描いた絵が、印刷されて皆の手もとに渡り、皆で使えるという感覚に、少々興奮気味に喜んで居る生徒が多く居たのが印象的でした。



申し上げます。詳しくは、別紙の『夏のアトリエのお知らせ』をご覧ください。



前号の『H・A・S ニュース』にてお伝えした、小学生クラスでの絵の具の苦手意識についての第二弾です。あれから絵の具の素晴らしさに、どうにか気付けてもらおうと、様々な手で絵の具を使う機会を作ってきました。にじみ、ぼかし、塗り、自然な重ね塗り表現など、課題ごとに焦点を絞って親しめるように工夫してみました。そんな中で気が付いた事が、又、幾つか。当然の事ですが、回を重ねる毎に、筆やパレットの使い方、手が汚れて来ましたが、やはり子供は覚えるのが早いですね。また、指を使って色を着ける方法を行なっても、手が汚れる事に慣れてきて、大胆に絵の具を触れるようになって来ました。しかし、一番ショックだったのは、本当はとも色に敏感だったという事が判った時でした。絵の具を好きになって貰おうと、小学生には少し高級な絵の具を出してみました。普段使っている絵の具との色の差が判った様子で、みんなとっても喜んで色を使い始めました。確かに色遊びに使ってしまえば、少々勿体ない絵の具なのですが、制作の意欲にこれだけの差が出るのなら、少々高い絵の具を使うのも悪くないか。と感じました。この出来事以来、小学生クラスでも良い絵の具を使う機会を増やしました。考えてみると、今の子供達は溢れんばかりの色や物に囲まれて生活をしていきます。そんな中で、制作に使う色に感動が伴わなければ、仲々気分が乗らない事も判ります。ただ、どちらかと言うと、溢れんばかりの物や情報の中で、大切なモノを探し出せる、敏感なアンテナを育てて行けたらと思います。(鐵)

絵の具は苦手？ (その二)

後日、保護者の方より、嬉しいお知らせを頂きました。スクールの帰りにオーラモールの通路で、お友達とトランプで遊んでいたところ、通りがかった人がトランプを見て声を掛けてくれ、数人の人達とトランプを通じての交流が持てたとの事でした。生徒も自分達の作ったトランプが余りに好評で、とても嬉しい様子だったらしく、メールを貰った私も嬉しくなりました。



小・中学生クラスでは、6週間掛けて制作した靴や、小さな絵を素材で作った靴が先日、完成しました。造り始めの頃は『完成させられない』と弱気な発言をしていた生徒達も、制作が進む毎に完成の形が見えて来たのか、手を動かすスピードも段々と早くなり、楽しい作品が見事に完成しました。実際に履ける事にこだわって制作した作品や、小さな絵を靴のあちこちに張り付けた作品、新聞紙を粘土のように扱った作品や、深みの有る色で素敵な靴に仕上げた作品など、力作揃いでした。最後の授業を休んだMちゃんは、他の授業に早めに来て制作を続ける予定です。納得の行く作品にしましょう。